

取組内容 吹田市危機管理センター設置により、災害対策機能のワンフロア・常設化 (令和5年4月 本格稼働)

資料 8



いつ発生してもおかしくない地震や台風など様々な災害が吹田市で起こった時にも、「災害対応オペレーションシステム」を瞬時に立ち上げ、市内の情報を集め、素早い対応ができるように、災害対策機能のワンフロア・常設化を行いました。

「有事」に対応する
災害対策機能の
ワンフロア・常設化
を実現



取組内容 摂津市を含む広域避難連携の取り組み

市は令和4年5月19日、摂津市及び株式会社ビバホームの三者間で『災害時の緊急避難等についての協力に関する協定』を締結しました。本協定は、市及び摂津市で災害が発生し、または発生するおそれがある場合の緊急避難場所としてスーパービバホーム吹田千里丘店の駐車場及び物資の提供等について定め、市民等の円滑な避難を図ることを目的としています。

取組内容 JR高槻駅北駅前広場 雨水貯留施設整備

令和5年3月完成

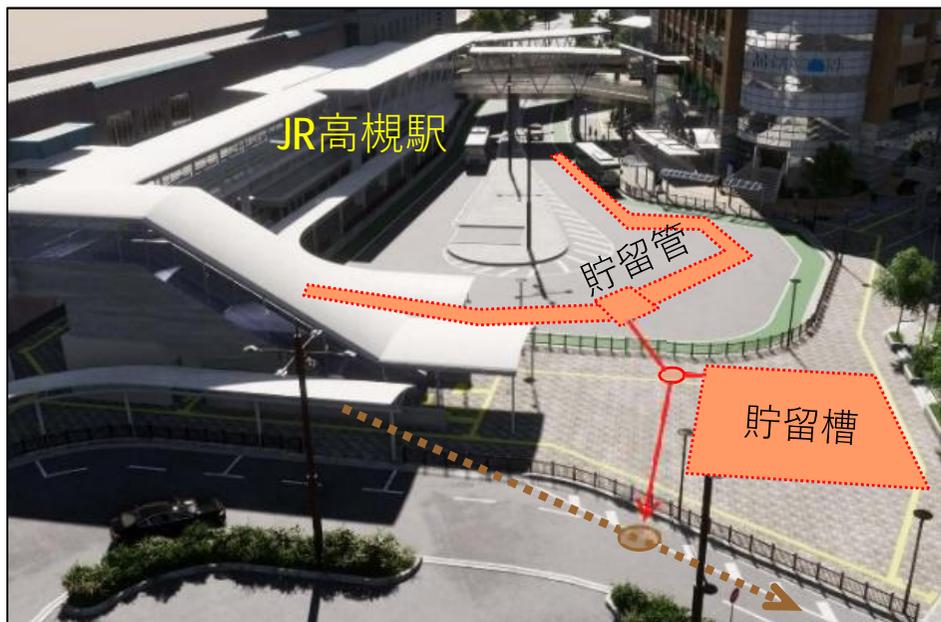
平成24年8月豪雨
(本市既往最大降雨)



駅前浸水 状況

[浸水被害発生状況]

発生日時 平成24年8月14日
 時間最大雨量 110mm/hr
 総雨量 216mm
 床上/床下浸水 247戸/597戸



貯留管 (V=140 m³) 雨水貯留槽 (V=110 m³)

取組内容 雨水流出抑制施設の整備

令和4年度末整備完了 (小中学校) 7校

・・・小中学校の校庭を活用した流出抑制施設 (平成29年度～)



降雨開始直後



降雨終了時

整備年度	整備数
平成29年度	1校
令和元年度	2校
令和2年度	1校
令和3年度	1校
令和4年度	2校

整備実績

取組内容 森林整備・保全 《森林災害復旧事業》

平成30年台風21号による風倒木被害613ヘクタールのうち、集落・道路・河川付近の優先度の高い森林約123ヘクタールを復旧（平成30年度～令和4年度）

事業主体：大阪府森林組合



森林の被災状況



ドローンによる資材運搬



高性能林業機械を用いた倒木処理



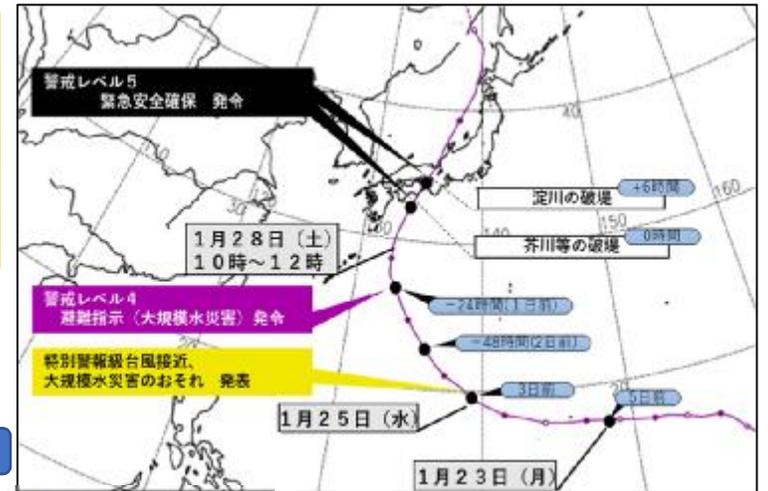
植生基盤工

取組内容 市制施行80周年記念事業 高槻市全域大防災訓練

特別警報級の台風接近に伴う大規模風水害・土砂災害を訓練想定とし、タイムライン（避難行動計画）に沿って、自助・共助・公助の各分野において訓練を実施

主催 高槻市、高槻市コミュニティ市民会議

訓練期間 令和5年1月23日（月）～29日（日）



○1/23(月)～27日(金)防災情報取得訓練

○1/28(土)市民避難訓練(40か所)、市営バス避難者輸送訓練、災害対策本部図上訓練、情報収集伝達訓練、水防訓練、救援物資配送訓練、災害ボランティアセンター設置・運営訓練等

参加者 約5,700人



近畿地方整備局ヘリ

○1/29日(日)総合防災訓練フェス(安満遺跡公園)

総合救助訓練、特殊車両展示・体験、ハザードマップ出前講座、パネル展示、防災資機材展示・体験、防災クイズラリー、自衛隊カレー試食等

参加者 約26,000人



取組内容 洪水浸水想定区域内の公共施設に浸水深表示板を設置

茨木市では、安威川等の氾濫に備え、水害リスクを日常から視覚的に意識し、災害時の適切な避難行動につなげるため、生活空間である“まちなか”をまるごとハザードマップに見立て、市内で浸水が想定される指定避難所44か所及びその他市有公共施設43か所に、想定される最大の浸水深を表示する標識を設置しました。



表示内容説明板

安威川等が氾濫した際、浸水する可能性がある高さを記載しています。

浸水したイメージが確認することができるQRコードを掲載しています。
(指定避難所のみ)



浸水深表示板

青いラインが想定浸水深(=4.6m)の高さになるように設置しています。
(施設によって高さが足りない場合、標識のデザインは異なります。)



- 「表示内容説明板」を施設入口付近など目立つ位置に設置。
- 「浸水深表示看板」を浸水リスクが視覚的に実感しやすいように、想定浸水深の高さに設置。
※施設の構造上、実際の高さに浸水深表示板を設置できない場合や、表示内容説明板とは離れた場所に設置している場合もある。
- 指定避難所44か所については、実際に浸水した場合をイメージしたフォトモンタージュを作成し、QRコード化したものを、表示内容説明板に掲載。
- 洪水浸水想定区域の見直しがあった場合には、冊子版のハザードマップと併せて更新予定

活動報告

- まるごとまちごとハザードマップ（高度化）の設置（1カ所）
- 防災サポーターに対するマイタイムライン作成研修会の開催
- 広域避難シミュレーションの実施



まるごとまちごとハザードマップ（高度化）



防災サポーター
マイタイムライン作成研修会



広域避難シミュレーション

活動の効果 ならびに 今後の予定

- まるごとまちごとハザードマップ（高度化）の設置により、想定最大浸水深の見える化が図れた。
- マイタイムライン作成について、防災サポーターが指導者となり地域に普及啓発できるよう、研修会を開催することで、地域防災力の向上が図れた。
- 広域避難シミュレーションを実施し、啓発動画の作成も行った。令和5年度からは、広域避難に焦点を合わせたコミュニティ防災マップの作成を予定。

取組内容 住民、職員向け防災訓練の取り組み

【職員水防訓練】

令和3年3月に茨木保健所の方にも協力いただき作成した「島本町新型コロナウイルスまん延下における避難所運営マニュアルを」に沿った避難所運営訓練を避難所で実施しました。

訓練は2部構成とし、第1部として新型コロナ対応の避難者受付チェックシートによる、避難者の受付時のロープレイングを保健師も参加し実施しました。

第2部では、避難所の設営訓練として、陽性者等の専用ゾーンの確認や、北海道看護大学の根本先生のアドバイスもいただいた、メッシュテントとダンボールベッドを組み合わせた避難所レイアウトを設営する訓練を実施いたしました。



【防災とボランティア講演会】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため2年間中止していた防災とボランティア訓練を引き続き感染が拡大していることから訓練と講演会方式に縮小し、自主防災会、自治会を対象に開催しました。

自主防災会の避難所開設訓練として、段ボールベッドとメッシュテント、プライバシーテントの設置訓練を行った後、気象庁、淀川河川事務所から職員を講師に招き、講演会を行いました。



令和4年度の活動報告【大阪市】

■ハザードマップ作成・周知

活動報告

- 令和3年に平成27年の水防法改正に合わせた水害ハザードマップを新しく作成し、その中に、マイタイムライン作成フォームおよび水害(大雨・高潮)に対する避難行動フローを掲載しました。
- 令和4年には、令和3年の水防法改正に伴い、令和4年2月に大阪府から中小河川※の浸水想定が公表されたため、中小河川の浸水想定区域図を水害ハザードマップに追加し、日本語版と翻訳(英語、中国語、韓国・朝鮮語)版を作成し、HPに掲載しました。

令和3年度

- 水害ハザードマップ印刷(5月~7月)
- HPの更新(7月16日)
- 市役所・各区役所・大阪市サービスカウンターなどで、配架(7月16日~)
- 全戸配布(7月16日~8月31日)

令和4年度

- 中小河川※の浸水想定区域図を水害ハザードマップに追加(5月~)
- 市役所・各区役所・大阪市サービスカウンターなどで、配架(5月~)

※中小河川：大阪府が管理する洪水予報河川、水位周知河川以外の河川
 ・旧淀川流域等の河川(大川・堂島川・安治川、土佐堀川、木津川、尻無川)

(令和3年作成)

北区 水害・津波から命を守る!

大阪市 水害ハザードマップ

このハザードマップの使い方

1 お住まいの地域は、どのような水害の危険性があるか確認しましょう

2 災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう

3 命を守るために、掲載している情報やマイタイムラインを活用し、日頃から備えを確認しましょう

避難先・集合場所

大正区	06-6713-9734	浪速区	06-6466-2157
東淀川区	06-6713-9882	東淀川区	06-6947-7981
東淀川区	119	東淀川区	06-6713-5858
東淀川区	119	東淀川区	0120-06-19424
東淀川区	06-6462-3910	東淀川区	119
東淀川区	06-6458-1132	東淀川区	0120-444115

(更新版)

「水害ハザードマップ」(令和3年3月版)の追加について

【北区】

大阪府より、令和4年2月に新たな洪水浸水想定区域図が公表されましたので、水害ハザードマップ(令和3年3月版)に下記区画を追加します。

浸水想定条件	公表年月	問合せ先	電話番号
大阪府域に高潮警報が発令 24 時間降雨量 480mm 1 時間最大雨量 120.1mm	想定最大規模降雨 (発生確率 1/1,000 以上)	令和4年2月 大阪府 西大阪治水事務所	06-6541-7771

※大阪府域に高潮警報が発令(東淀川水門、安治川水門、尻無川水門が閉鎖)された状況で、想定最大規模の雨が降った場合に浸水が想定されています。

■要配慮者利用施設における避難計画の作成等【避難確保計画の策定】

活動報告

- 避難確保計画の作成提出施設数の向上に向け、専任職員を雇用し、未提出施設に対し、個別相談や助言・督促を電話で直接行い、且つ、市HPにおいて、計画作成方法の支援ツールとして、ひな形等を掲載の上、作成方法の解説動画も公開する。
- 未提出施設には施設名の公表を行う旨の「通告書」を送付し、期限内に全ての対象施設から計画を受理。

■取組事例・成果

The screenshot shows the Osaka City website with a search bar and navigation menu. The main content area features a video explanation titled '動画による解説' (Explanation by Video) regarding the creation of evacuation plans. The video content includes sections for '1. 避難確保計画の作成方法' (Creation Method of Evacuation Plan) and '2. 提出について' (About Submission). The '1. 避難確保計画の作成方法' section lists steps such as downloading forms, filling them out, and submitting them. The '2. 提出について' section mentions the submission deadline and contact information for the Disaster Preparedness Section.

□ 令和4年4月に大阪市地域防災計画に位置付けられた大阪市域内の全対象施設(6,435施設) に対する作成済み施設数

R5年3月末 6,435施設(100%)

□ 専任人員による施設への個別相談や助言・督促を電話で直接行う等、きめ細やかな支援・対応を実施(随時)

活動の効果
ならびに
今後の課題

【効果】

- 未提出施設毎に個別アプローチを行い、計画作成の意図と作成方法を理解していただくことで、提出数の向上につながった。

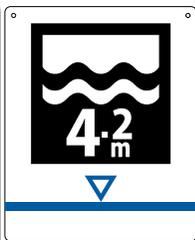
【課題】

- 本市においては要配慮者利用施設の数が多く、その開廃も頻繁にあることから、避難確保計画の作成・提出が必要となる施設の指定更新を定期的に行っていく必要がある。

取組内容 まるまちハザードマップの設置を推進し、水防災への意識を高める

■高槻市における設置

●市内の小中学校に設置 (⇒子供の目に触れ、防災教育にも活用できる)



看板デザイン (冠小学校)



冠小学校



第六中学校



西大冠小学校



丸橋小学校



如是小学校

■京都府域における設置

●駅、集会所や公民館、役場などに設置 (⇒多くの人の目に触れやすい)



京都市 京阪淀駅出入口



八幡市 五区集会所



久御山町 島田公会堂



精華町 南区公民館



笠置町 町役場

◆令和4年度
まるまちHMの設置状況

市町名		設置箇所
大阪府域	高槻市	30
	京都市	35
京都府域	八幡市	1
	久御山町	9
	精華町	2
	笠置町	2
	大阪府計	30
淀川管内	京都府計	49
	合計	79

取組内容 まるまちハザードマップの設置を推進し、水防災への意識を高める

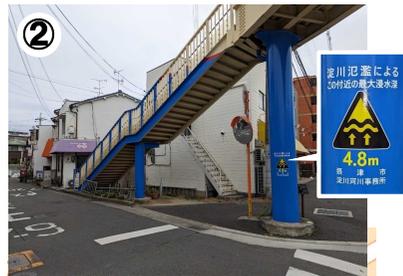
■ まるまちハザードマップ（高度化）の設置

まるごとまちごと
ハザードマップの
高度化とは

- これまでのまるごとまちごとハザードマップ（まるまちHM）に比べ、更に分かりやすく、**実際の浸水深が一目でわかるように工夫**することで、設置後も**浸水リスクをより多くの住民に理解**してもらうことができる。
- **二次元バーコード**により自治体の防災情報サイトに接続が可能。
- 高度化したまるまちHMは、二次元バーコードを活用した**避難訓練や防災マップの作成にも活用**できる。

■ 摂津市における設置

● 交通量の多い府道に架かる歩道橋に設置（青色塗装）



■ 京都市における設置

● 電柱に青色シートでラッピングして設置



二次元バーコードによる防災情報の取得



取組内容 河川の防災情報を提供するHPをリニューアルし、避難や水防活動に資する情報提供を充実化

大雨の際に府民の皆さんが躊躇なく避難行動をとれるように、雨量、河川水位や河川カメラ画像などの河川防災情報を公開しています。（英語対応）

👉 <https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html>



令和4年12月～ ホームページを大幅リニューアル

パソコン画面



スマホ画面



水位情報閲覧画面

観測時刻	流橋 基準	万歳橋 基準
	m	m
堤防高	7.065	6.917
氾濫危険水位	4.20	3.45
避難準備水位	3.85	3.10
避難注意水位	3.75	3.00
水防団待機水位	2.50	1.50
最大値	[18:37] 4.45	[18:26] 5.25
最小値	[04:30] 1.23	[16:54] 0.20
既往最大	4.22	5.01
09/02 18:24	4.20	5.25
09/02 18:23	4.15	5.23
09/02 18:22	4.10	5.23
09/02 18:21	4.05	5.20
09/02 18:20	4.00	5.15
09/02 18:19	3.95	5.08
09/02 18:18	3.94	4.99
09/02 18:17	3.95	4.91
09/02 18:16	3.90	4.82
09/02 18:15	3.79	4.70
09/02 18:14	3.77	4.59
09/02 18:13	3.70	4.47
09/02 18:12	3.65	4.37
09/02 18:11	3.60	4.25
09/02 18:10	3.57	4.15
09/02 18:09	3.54	4.04
09/02 18:08	3.52	3.92
09/02 18:07	3.48	3.79
09/02 18:06	3.44	3.68
09/02 18:05	3.39	3.59

10分間で
約1mも
水位上昇

新ホームページの改良点① ～閲覧可能情報の追加～

これまで閲覧できた水位、雨量、貯留施設（ダム等）状況に加え、新たに
洪水リスク表示図、土砂災害警戒区域、土砂災害の防災情報
降水ナウキャスト、水門・鉄扉等施設の開閉状況、開設避難所情報
が同一画面上で閲覧可能に！

新ホームページの改良点② ～スマートフォンに対応～

スマホ専用画面を新たに作成
スマホの位置情報から**自分の位置、周囲の河川状況、**
開設された避難所の位置が一目で分かる！

新ホームページの改良点③ ～リアルタイム化～

水位情報の提供を**10分⇒1分間隔に短縮**
リアルタイムで水位が確認できる！

大阪府域 流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～880万人の暮らしを守る「防ぐ」「逃げる」「凌ぐ」を組み合わせた流域治水の推進～

大阪府
参考資料

●グリーンインフラの取り組み

みお筋等を工夫した整備 (田尻川)
水制工

かわまちづくり (箕面川)

現地埋土種子による法面緑化 (安威川ダム)

水都大阪の再生 大川ふれあいの水辺

魚道整備 (西除川)

ワンドの整備 (近木川)

かわまちづくり (櫻井川)

魚道整備 (芥川)

親水護岸整備 (寝屋川)

水環境改善のための底泥の浚渫 (寝屋川流域)

生駒山系花屏風構想

ひつじによる除草 (松尾川)

【全域に係る取組】

- ・アドプト・リバー・プログラムによる美化活動
- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

○寝屋川流域では、下水道整備の進捗等により、昭和50年以前の劣悪な水質が改善し、平成27年以降は全ての環境基準点で環境基準を満たしています。

○淀川水系田尻川や芥川などでは、多様な生物に配慮した多自然川づくりを進めています。

○水都大阪の再生やかわまちづくり事業など、河川区間を活かした賑わいを創出していきます。

このような、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進していきます。

●自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・ダム建設に伴う現地植生回復

●治水対策における多自然川づくり

- ・上下流の連続性確保に向けた魚道の整備
- ・現地発生材を活用したみお筋の整備

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・小中学校、水辺の学校等との河川環境学習
- ・自治体・住民・企業との協力による河川美化活動
- ・寝屋川流域協議会の連携による水環境改善の取組み
- ・花木や紅葉の美しい樹木の植樹による景観資源の創出

●魅力ある水辺空間・賑わいの創出

- ・水の都を取り戻す水都大阪の再生
- ・自然環境と周辺の歴史的資源を活かしたかわまちづくり

アドプト・リバー・プログラムによる河川美化活動



水辺の学校による河川環境学習

